

Ⅱ. 主要な取組

1. 道路

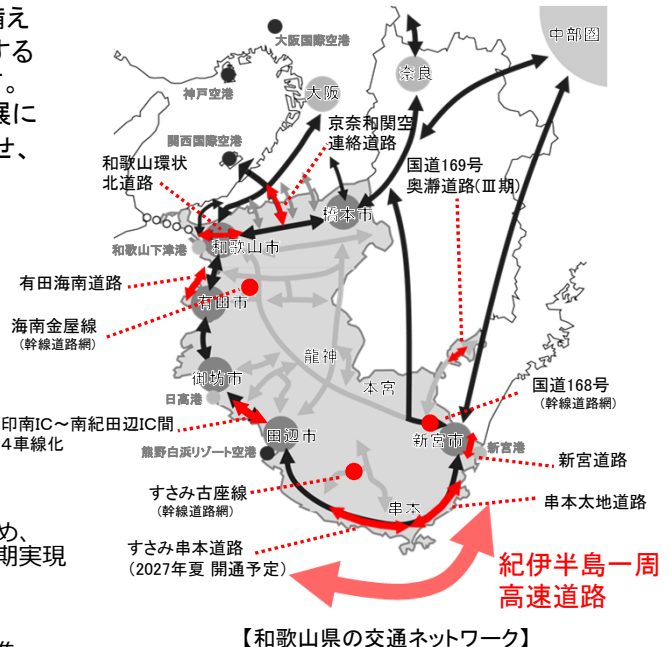
道路ネットワークの整備

南海トラフ地震や激甚化、頻発化する豪雨災害への備えとして、また、企業立地や産業振興など地域を活性化するため、高速道路ネットワーク等の整備を推進しています。

また、「ひと」、「もの」の流れを活性化し県内外の発展に寄与するため、高速道路ネットワーク等の整備に合わせ、幹線道路網や都市内道路等の整備を行っています。

- 紀伊半島一周高速道路
 - ・ 国による整備
すさみ串本道路の2027年夏開通に向け工事を推進
串本太地道路、新宮道路の用地取得や工事を推進
 - ・ 西日本高速道路(株)による整備
印南IC～南紀田辺IC間の4車線化の工事を推進
- 国直轄道路
国道42号有田海南道路、国道169号奥瀬道路（Ⅲ期）の工事を推進
- 高規格道路（調査中区間）
京奈和自動車道などの整備効果をさらに波及させるため、「和歌山環状北道路」や「京奈和関空連絡道路」の早期実現に向けた取組を推進
- 県管理道路
国道168号、海南金屋線、すさみ古座線等の工事を推進

防災・減災、県土の強靱化



防災・減災対策

防災・減災、県土の強靱化

南海トラフ地震等の大規模災害時における緊急輸送道路等の通行を確保するため、橋梁の耐震化や道路法面強化、無電柱化を推進しています。

【橋梁の耐震化】

- 国道370号福井橋（第二次緊急輸送道路）
 - ・ 落橋防止装置の設置による橋梁耐震化を行うことで、災害時の通行止めリスクを軽減



【道路法面強化】

- 国道168号（第一次緊急輸送道路）
 - ・ コンクリートにより道路法面を保護することで、豪雨等による通行止めリスクを軽減

【無電柱化】

- 粉河加太線（第一次緊急輸送道路）
 - ・ 電線を地下に埋設し無電柱化することで、台風等による電柱倒壊に伴う通行止めリスクを軽減



老朽化対策の推進

防災・減災、県土の強靱化

高度経済成長期に集中的に整備されたインフラが今後加速度的に老朽化するなか、平常時はもとより災害時にも本来の機能が発揮できるよう、老朽化対策を推進しています。



対策前



対策後

【橋梁】

- 那智大橋（那智山勝浦線）
- ・塗装の劣化により腐食が進行し鋼材の断面が減少
- あて板による補修工事を行い、橋梁の機能を確保



対策前



対策後

導水樋による
湧水の集約

【トンネル】

- 池田トンネル（泉佐野打田線）
- ・トンネル湧水が覆工壁面を伝い拡散
- 導水樋により湧水を集約し排水すること、周辺の設備等に対する影響を低減



対策前



対策後

【道路付属物】

- 松江第2横断歩道橋（和歌山阪南線）
- ・塗装の劣化により、浮きや剥がれが発生
- 塗替塗装により防食機能を回復

交通安全対策

住みやすい、住みたいまちづくり

子どもや高齢者が安心して生活できるよう、歩道整備を進めるとともに、通学路の合同点検において抽出した要対策箇所や、死傷事故が多い箇所における安全対策を進めるなど、道路交通の安全性向上に取り組んでいます。

【歩道整備】

- 新和歌浦梅原線（和歌山市西浜～舟津町四丁目）
- 上富田南部線（田辺市下三栖） など



対策前



対策後

上富田南部線（田辺市下三栖）

自転車利用環境の整備

観光産業の強化

地域の魅力を楽しみながらの観光や健康づくりを促進するため、利便性や安全性を備えた自転車利用環境の整備に取り組んでいます。

【サイクリングロードの整備】

- WAKAYAMA800
全長約800kmの「川・山・海」の3つのサイクリングロード。紀の川の河川敷を利用した専用道路化を進めています。
- 太平洋岸自転車道（ナショナルサイクルルート）
千葉県銚子市から和歌山市に至る延長1,487kmの自転車道。矢羽根型路面表示の設置など、利用環境の向上に取り組んでいます。

- ルート名
- 川のリート
- 山のリート
- 海のリート



「川」のサイクリングロード



WAKAYAMA800ルート図

【まちなかの自転車通行空間整備】

市街地において、自転車の通行位置を明確にし、歩行者と自転車の安全性を高めるため、矢羽根型路面表示等の整備を進めています。